

2022 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

テーマ タイトル	習志野市大久保地域のアメニティマップ×空間の履歴×哲学ウォーク
担当者	吉永明弘、金光秀和
実施時期	9月5日～9日、12日～13日の7日間
実施場所	習志野市京成大久保駅から大久保商店街を中心とする地域
協力機関	なし
募集人員	10名
学習目的	古くからの商店街を対象に、アメニティ評価と空間の履歴の調査を行う（吉永が担当）。また哲学ウォークの手法を使って、街をいつもとは違う観点から見つめると同時にその省察について質問し合い、考察を深める（金光が担当）。
行程	京成大久保駅——日本大学生産工学部正門前集合——大久保商店街——京成大久保駅解散
現地訪問の際の安全対策	マスクを着用し、密を避けるために分散して歩くよう指導する。昼食も分散してとるようにする。
費用	昼食代、および現地までの交通費
選考基準	応募者に志望動機だけでなく地域環境を見るための視座を問う課題と哲学ウォークに関するエッセイ課題を課し（詳細は募集時に Hoppii で連絡）、適切と思われる人から順に参加を認める。関連科目として、秋学期開講の「環境倫理学Ⅱ」（担当：吉永）があり、本コースに参加した者はこちらも受講することが望ましい。
事前・事後学習の予定	事前学習（5日）、第一回（6日）、事後学習（7日）、第二回（8日）、事後学習（9日）、第三回（12日）、事後学習（13日）、という形で、フォローアップを行う。
注意事項	<p>(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。</p> <p>(2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。</p> <p>(3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。</p>
中止の場合の代替措置	バーチャルまちあるき（動画による）を行い、ディスカッションの時間を多くとる。また、現地ではなく各自の近所のアメニティマップを作成し、発表する。
評価方法	アメニティマップ提出（40%）、空間の履歴に関するレポート（30%）、哲学ウォークによる気づきのレポート（30%）によって評価する。締め切りは9月末。